

第 22 回 全日本大学フットサル大会 埼玉県大会

実施要項

1. 名称 : 第 22 回 全日本大学フットサル大会埼玉県大会
2. 主催 : 公益財団法人 埼玉県サッカー協会
3. 主管 : 公益財団法人 埼玉県サッカー協会フットサル委員会
4. 協力 : 埼玉県フットサル連盟
5. 日程 :
 <開催日> 2026 年 5 月 16 日 (土)
 <会場> 城西大学体育館
6. 参加資格
 - (1) 公益財団法人日本サッカー協会 (以下、「日本協会」とする。) に「フットサル 1 種」、または「サッカー 1 種」の種別で加盟登録したチーム (準加盟チームを含む。) に所属している選手により、本大会のために構成されたチームであること。
 - (2) 前項のチームに所属する単一の大学 (大学院生を含む)・短大に在学している選手であること。男女の性別は問わない。
 - (3) 前項の大学・短大に本大会へ出場することの了承を得ていること。
 - (4) 外国籍選手は、1 チームあたり 3 名までとする。
 - (5) 選手およびチーム役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
7. 参加チームとその数 :
 参加チームは、最大 4 チームとする。
8. 大会形式 :
 参加チームによるノックアウト方式で行う。
 なお、3 位決定戦は行わない。
9. 競技規則 :
 本大会実施年度の日本協会「フットサル競技規則」による。
10. 競技会規定 :
 以下の項目については、本大会で規定する。
 - (1) ピッチ
 原則として、40m×20m とする。
 - (2) ボール
 試合球 : 日本協会検定球のフットサル 4 号ボールを使用する。
 - (3) 競技者の数
 - ① 競技者の数 : 5 名

- ② 交代要員の数 : 9 名以内
 - ③ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数 : 2 名以内。準加盟チームについては、その限りとしない。
- (4) チーム役員の数
3 名以内 (ただし、通訳が試合に登録されている場合は 4 名以内とする。)
- (5) 競技者の用具
- ① ユニフォーム
 - (ア) 日本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - (イ) フィールドプレイヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム (袖のあるシャツ、ショーツ、ソックス) を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - (ウ) チームのユニフォームのうち、袖のあるシャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - (エ) フィールドプレイヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用する袖のあるシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - (オ) 袖のあるシャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。
ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - (カ) 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。
1 番はゴールキーパーが付けることとする。
必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - (キ) ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - (ク) 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
 - (ケ) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - (コ) 前項の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、袖のあるシャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - (サ) ユニフォーム生地には布等を縫い付けて番号等を表示 (通称:張り番) する場合は、本大会参加申込書にて登録されたユニフォームの主たる部分の色と同色の布地を使用すること。表示される番号は、本大会参加申込書にて登録されたユニフォームに表示された番号色と同色とすること。

なお、張り番は、容易に取れないように四辺が縫い合わされていなければならない。但し、緊急性を要する事情、または突発的な事情により急遽対応しなければならない事情が生じたときは、張り番として、白布、黒色の番号等の使用を当該試合の主審の同意を得て許可する場合がある。

(シ) その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規程に則る。

②靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)但し、ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。

③ビブス

(ア) ビブスは、異なる色彩のものを 2 種類以上必ず携行すること。

(イ) 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、シャツの上に着用しなければならない。

(6) 試合時間

40 分間(各 20 分間からなる 2 つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分間(第 1 ピリオド終了から第 2 ピリオド開始まで)とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法 (試合時間内で勝敗が決しない場合)

PK 方式により勝敗を決定する。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

(8) 一方のチームの責に帰すべき事由により試合を行うことが不能、または中止となった場合(不戦敗等)には、その帰責事由によるチームは、0 対 5 で敗戦したものとみなす。

(9) 試合開始前(審判員によるエキップメントチェック時)に不在な選手、及びチーム役員は、ベンチ入りを認めない。

11. 懲罰 :

(1) 本大会は、日本協会「微罰規定」則り、大会規律委員会を設ける。

(2) 本大会の大会規律委員会は、公益財団法人埼玉県サッカー協会(以下、「県協会」とする。)

フットサル委員会とする。委員長は、県協会フットサル委員長とする。

(3) 本大会において退場を命じられた選手・チーム役員は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

(4) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手・選手・チーム役員は、自動的に次の 1 試合に出場できない。

(5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフット

サル公式試合にて消化する。関東大会へ進出となる場合は、関東大会にて消化する。
ただし、警告の累積によるものを除く。

(6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

12. 参加申込 :

(1) 本大会参加申込書に必要事項を記入し、プライバシーポリシー同意書とともに下記申込先にメール送信をする。

※ 件名は、【第 22 回 全日本大学フットサル大会参加申込】と必ずすること。

(2) 本大会においては、1 チームあたり 24 名(選手 20 名、役員 4 名)を上限とする。

(3) チーム名は短縮語を除き、日本語で表記しなければならない。

※チーム名に大学・短大の名称が含まれていることが望ましい。

(4) 申込期限以降の参加申込内容の変更は認めない。

(5) 出場の決定は、2026 年 4 月 27 日(月)までに各チームへメールにてお知らせ致します。

13. 申込期限 : 2026 年 4 月 24 日(金) 18:00 までとする。

※なお、データ送信も含む。

14. 参加費 : 1 チーム 20,000 円

※出場決定後、2026 年 5 月 8 日(金)までに振込をお願いします。

なお、振込手数料は、ご負担願います。

15. 選手証 :

各チームの登録選手は、原則として日本協会発行の選手証を持参しなければならない。
ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、日本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証、登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

16. 組合せ :

(1) 代表者会議にて抽選により決定する。

なお、代表者会議が未実施の場合は、県協会フットサル委員会において抽選を行い決定する。

(2) 前年度優勝チームは、シードの権利を有する。

17. 代表者会議 :

開催の有無、及び期日、会場については別途連絡するものとする。

18. 表彰 :

優勝、準優勝チームを表彰する。

19. 関東大会への出場 :

本大会の優勝チームは、関東大会への出場の権利と義務を有する。

<開催日> 2025 年 6 月 13 日(土)、21 日(日)、28 日(日) *予定

<会 場> 府中市総合体育館/立川市泉体育館 (東京都) *予定

20. 審判員およびオフィシャル :

- (1) 審判員については、主審、第 2 審判、第 3 審判、タイムキーパーを県協会審判委員会より派遣する。
- (2) オフィシャルについては、事前に割り当てられた参加チームで責任をもって行うものとする。

21. マッチコーディネーションミーティング (MCM) :

両チームの代表者、審判員とのマッチコーディネーションミーティングを以下のとおり行う。

- ① 各試合 60 分前に会場本部にて実施する。
- ② ユニフォーム (正・副)、メンバー用紙、選手証、ビブスを持参すること。

22. 傷害補償 :

チームの責任において傷害保険に加入すること。

23. 負傷傷対応 :

競技中の疾病、傷病等の手当については、必要に応じて救急車の手配は行うが、その後については、チームの責任において処置をすること。

主催者は、参加者の疾病、傷病等に対して一切の責任を負わないものとする。

24. その他 :

- (1) 上限 4 チームになり次第、募集を締め切るものとする。
- (2) 参加チームと選手及びチーム役員は、日本協会の基本規程及び付随する諸規程 (ユニフォーム規程等) を順守しなければならない。
- (3) ユニフォーム規程について、本大会では一部緩和処置を講じることがありますが、関東大会では全国大会と同じものとなりますので、ご留意下さい。
- (4) 本大会の試合に関する放映・動画・写真の権利は、全て県協会フットサル委員会に帰属する。
また、肖像権等の使用は、県協会フットサル委員会の承認を必要とする。
- (5) 本大会実施要項に記載のない事項については、県協会フットサル委員会にて決定する。
- (6) 予備日は 5 月 17 日 (日)、庄和総合体育館とする。

25. 申込先/問合せ先 :

埼玉県フットサル連盟事務局

E-mail: saitamaff_jim@yahoo.co.jp